国際シンポジウム
宣教師の日本語文学・漢語文学とド・ロ版画
キリシタンがもたらした多文化的融合

日時
2019年3月15日（金）9:30開場
会場
上智大学・ソフィアタワー 6号館 303教室

総合司会：井上章一

第1部
宣教師の日本語文学・漢語文学
10:00～11:15
郭南燕：宣教師の日本語文学とブティジャン版の視覚的表現
肖清和：宣教師の漢語文献の集録
宋莉華：近代宣教師の漢語文学
◆休憩 (11:15～11:30)
◆コメント (11:30～12:15)

高祖敏明：ブティジャン版にみるキリシタン言語へのこだわり
沼野充義：日本語文学に与えた宣教師の貢献
李天鋼：東アジア言語による宣教師の著述

第2部
ド・ロ木版画における多文化的融合
13:30～15:10
司会：川村信三

李丹丹：上海におけるイエズス会ヴァスール神父の絵画
郝巨欣：ヴァスール原画とド・ロ版画との比較
白石恵理：ド・ロ版画に読む日本的イメージ
内島美奈子：九州におけるド・ロ版画の収蔵
◆休憩 (15:10～15:25)
◆コメント (15:25～16:00)
谷口幸代：ド・ロ版画と日本語文学・日本美術
石上阿希：浮世絵から考えるド・ロ版画
◆質疑応答と全体討論 (16:00～16:40)
◆総括：井上章一、郭南燕 (16:40～17:00)

発表者・コメント者
郝巨欣（中国美術学院）、李丹丹（上海明珠美術館）、肖清和（上海大学）、宋莉華（上海師範大学）、李天鋼（復旦大学）、沼野充義（東京大学）、谷口幸代（お茶の水女子大学）、高祖敏明、川村信三（上智大学）、内島美奈子（大浦天主堂キリシタン博物館）、井上章一、石上阿希、白石恵理（国際日本文化研究センター）、郭南燕（日本語学者）